

令和 3 (2021) 年度事業報告書

公益社団法人 日本小児保健協会

I. 法人の概況

[目的]

本公益社団法人は、小児保健の進歩・発展を図り、もって人類・社会の福祉に貢献することを目的とする。

[事業]

- (ア) 学術集会の開催〔第1号事業〕
- (イ) 機関誌及び図書などの刊行〔第2号事業〕
- (ウ) 各種の学術的調査研究〔第3号事業〕
- (エ) 各種の研修〔第4号事業〕
- (オ) 小児を取り巻く保健、医療、教育、福祉など社会一般への啓発並びに普及活動、本会の活動や小児保健全般に関わる意見聴取（パブリック・コメント）〔第5号事業〕
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

[会員の状況]

	令和元(2019)年度末 (令和2年3月31日現在)	令和2(2020)年度末 (令和3年3月31日現在)	令和3(2021)年度末 (令和4年3月31日現在)
個人会員	3,226名	3,176名	3,068名
団体会員	141団体	135団体	126団体
賛助会員	9社	8社	8社

*令和3年度末における会費滞納者(個人会員75名)を定款第3章第12条に基づき退会(会員資格の喪失)とした(令和4年3月31日付)。

令和3年度 個人会員入退会者数および職種別内訳 ※再入会含む。

(令和4年3月31日現在)

種 別	新入会員	退会会員	令和3年度末会員
小児科医師	35名	91名	1,210名
その他の医師	0名	4名	54名
歯科医師	0名	7名	89名
保健師	7名	9名	103名
助産師	3名	7名	59名
看護師	18名	49名	350名
看護教諭	1名	2名	41名
栄養士	0名	6名	19名
養護教諭	0名	1名	2名
保育士	2名	2名	21名
教職・研究職	41名	54名	915名
学生・大学院生	3名	3名	44名
その他の職種	10名	21名	161名
合 計	130名	256名	3,068名

[人事について]

1. 令和3(2021)年度名誉会長・名誉会員
理事会より総会へ推挙し、承認を得て決定した。
(石川県) 関 秀俊 (せき ひでとし) 氏
(埼玉県) 平岩 幹男 (ひらいわ みきお) 氏

II. 事業の概況

II-1. 事業の実施状況

ア. 日本小児保健協会学術集会の開催 [第1号事業]

第68回(令和3(2021)年度)日本小児保健協会学術集会(WEB開催)

会頭:宮城 雅也(みやぎ まや)先生(公益社団法人 沖縄県小児保健協会会長)

会期:リアルタイム配信期間:令和3(2021)年6月18日(金)~6月20日(日)

オンデマンド配信期間:令和3(2021)年6月16日(水)~6月30日(水)

テーマ:大きな和で育む 子どもの未来

参加登録者数:1,045名

イ. 機関誌及び図書などの刊行 [第2号事業]

1. 『小児保健研究』の発行

奇数月末、年間6回発刊。令和3年度は第80巻3号から第81巻2号発刊予定であったが、編集部業務委託の変更等に伴い、第80巻3号から第80巻6号を刊行した。第81巻1号および2号については令和4年度の6月までに刊行、発送を予定。

学術集会講演集を年間1回冊子により発行(5月末日発行、4,000部)

2. ホームページによる情報発信

『小児保健研究』電子ジャーナルとしてホームページに掲載した。会員は最新号までの閲覧が可能。発刊後6ヶ月を経過した巻号については、一般に向けて公開し閲覧可能としている。

3. メールマガジンによる情報発信

ウ. 学術的調査研究 [第3号事業]

1. 乳幼児身体発育調査分析報告 [発育委員会]

現在延期中である乳幼児身体発育調査の調査方法について学術的な立場からの要望書を厚生労働省母子保健課へ提出し、今後も委員会として議論した内容を調査に反映していく方針である。令和4(2022)年1月20日付にて要望書提出。

2. 幼児健康度調査 [幼児健康度調査委員会担当]

幼児健康度調査は昭和55年度第1回から10年毎に継続的に行っている。令和2年度に第5回調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により第5回調査は令和2年度には実施に至らなかった。令和3年度に改めて調査項目の見直しと確定、厚生労働省及び協会の関係委員会との調整を行い、オンライン形式にて調査を実施した。

エ. セミナー・研修会の開催 [第4号事業]

1. 令和3年度小児救急電話相談スキルアップ研修会 [小児救急の社会的サポートに関する検討委員会担当]

(基礎コース)令和3年7月3日(土)にオンラインで研修を行い、35名が参加した。電話相談の意義と役割について理解を図り、終了後アンケートでは評価が得られた。

(実践コース)新型コロナウイルス感染拡大の状況により、昨年度に引き続き開催を中止した。予定していた内容は、模擬電話相談を体験し、自らの傾向と相談技術について理解し、実践への

動機づけとするための講習

2. 第9回傷害予防教育セミナー（WEB開催）〔傷害予防教育委員会担当〕

令和3（2021）年6月18日に第9回傷害予防教育セミナーを開催した。本セミナーは、平成25（2013）年から毎年開催しており、今回で9回目を迎えた。新型コロナウイルス感染症対策のため、今年もWeb開催となり、参加者との活発な議論を交わすことは難しい側面もあったが、Web開催ということで、実際の参加者は約80名、オンデマンドまで含めたアクセス数は250を超え、多くの人に傷害予防教育の実践法を伝えることができた。セミナー後のアンケートでは、参加者から“（セミナーで傷害したツールを）看護大学で担当している授業で紹介したい”“実際の保育の中で今日の学びを実践していきたい”“科学的なデータに基づいて予防していくことの重要性を痛感した”“林先生のように、病院でデータを収集し活用する取り組みをしたい”などのコメントがあり、参加者がそれぞれの立場で実践できる具体的なアクションをみつけ、傷害予防教育が広がっていく様子が示唆された。実際、セミナー後に、数名の参加者からセミナー中に紹介した教育ツールに関する問い合わせもあり、講師を通じてツールの提供を行った。

日時：令和3（2021）年6月18日（金）※学術集會会期中開催

会場：Web開催

対象者：職種、会員・非会員を問わない

参加者：最大80名

参加費：無料（学術集會への参加登録済みの方）

講師：山中 龍宏（緑園こどもクリニック）、北村 光司／大野 美喜子（国立研究開発法人・産業技術総合研究所）、林 幸子（国立研究開発法人成育医療研究センター）、出口貴美子（出口小児科医院）

内容：①子どもの傷害の実態と傷害予防の考え方、②データを活用した科学的な傷害予防の実践、③傷害データの収集や活用法の実際、④地域で取り組む科学的傷害予防

3. 第5回多職種のための投稿論文書き方セミナー（WEB開催）

これから投稿論文を執筆する医師、看護師、保健師などのコメディカルをはじめ、保育、福祉、教育、行政など多職種に向けた投稿論文の書き方のセミナーを開催した。

日時：令和3（2021）年6月19日（土）

会場：オンライン開催（第68回日本小児保健協会学術集會会期中）

参加者：ライブ配信視聴者数：309名（会期中視聴回数：353回）

参加費：無料

4. 第6回多職種のための乳幼児健診講習会（WEB開催）

乳幼児健診には医師だけではなく多くの職種が関わるため、全体的に共通意識を持てるように研修を行うことが重要である。乳幼児健診に関わる多職種の方を対象とした研修会を企画、開催した。

日時：令和3（2021）年10月17日（日）

会場：Web開催

参加者：111名

参加費 会員 3,000円／非会員 6,000円

5. 第6回多職種のための発達障害の研修会（WEB開催）

発達障害などを抱えた子どもたちへの発達支援などの療育や預かりなどのサービスは、現在拡大の一途をたどっているが、その質の保証は困難なのが実情である。これから子どもたちの療育、特に発達障害への療育に関わる多職種の方を対象とした研修会を企画、開催した。

日時：令和4（2022）年3月6日（日）

会場：WEB開催

参加者：95名

参加費：会員 3,000円／非会員 6,000円

6. 第3回東京都保育士等キャリアアップ研修会専門分野研修（WEB開催）

保育現場におけるリーダー的職員の育成を目的として、東京都の指定を受け、「食育・アレルギー対応」をテーマに企画、開催した。また開催に先立ち参加者に対してWEB参加のためのリハーサルも実施した（令和3（2021）年10月30日（土））。

日時：令和3（2021）年11月27日（土）、12月11日（土）、令和4（2022）年1月22日（土）

会場：Web開催

参加者：37名

参加費 東京都助成対象者：無料／東京都助成対象者以外：会員7,000円／非会員10,000円

オ. 小児を取り巻く保健、医療、教育、福祉など社会一般への啓発並びに普及活動〔第5号事業〕

1. 第37回小児保健セミナー（WEB開催）

日時：令和3（2021）年12月5日（日）

会場：Web開催

テーマ：成育基本法の成立で変わる小児保健

内容/講師：成育基本法・同基本方針に至る道のり：わが国の小児保健・医療の改善を目指して/五十嵐隆（国立成育医療研究センター理事長）、成育基本法と健やか親子21/山本圭子（厚生労働省子ども家庭局母子保健課課長）、成育医療基本法における健やか親子21の位置づけと指標/山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域教授）、性教育のこれまでとこれから：産婦人科医の視点より/高橋幸子（埼玉医科大学病院産婦人科助教）/信州母子保健推進センターの役割と取組/西垣明子（長野県健康福祉部保健・疾病対策課課長、信州母子保健推進センター長）、雨宮洋子（長野県健康福祉部保健・疾病対策課課長補佐）/地域を基盤とした子育て支援とは：地域の支援とつなぐコツ/松田妙子（NPO法人せたがや子育てネット代表理事）

参加者：126名

参加費：会員3,000円／非会員6,000円

※講演の内容は、機関誌『小児保健研究』第81巻1号以降の巻号で講演内容を掲載予定である。

2. 委員会事業 ※令和3年度の委員会開催については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によりWeb会議推奨で実施した。

（1）発育委員会

委員会の所掌を厚生労働省乳幼児身体発育調査の円滑な実施と調査結果の学術的活用に関する議論と活動を行うこととしている。令和3年度は、2回web会議を行い、乳幼児身体発育調査について学術的な立場から議論をした。担当研究班である「乳幼児の発育・発達、栄養状態の簡易な評価手法の検討に関する研究班」で次回実施の調査方法について自治体が行った乳幼児健診データの利用が考慮されていることを受けて、過去の調査データとは全く異なる性質のデータであることから、結果についての学術的解釈に注意することや調査方法を変更するのであれば、以降長期にわたっての調査を見据えた調査方法を検討して欲しいことを要望書としてまとめた。要望書は理事会にて承認の後に、令和4（2022）年1月20日付文書により、厚生労働省母子保健課および担当研究班に提出した。今後も母子保健課と担当研究班と連携を取って調査の円滑な実施と学術学用に貢献したいと考えている。

（2）幼児健康度調査委員会

・幼児健康度調査は昭和55年度第1回から10年毎に継続的に行っている。平成22年度第4回調査結果を統計的に検討し、委員において解説文の作成が行われ、それらを基に令和2年11月に書籍「子どもの保健 1980年から10年ごとの幼児健康度調査の結果と分析 小児保健に携わるすべての人に」を出版した。

・令和3（2021）年9月9日（木）13時～15時、Web会議にて委員会を開催し、第5回幼児健康度調査の具体的な実施方法について議論がなされた。

- ・幼児健康度調査に回答いただいた対象者の方に、委員会の各委員が作成した子育てミニ講座（計 11 講座）をオンデマンド配信した。

（3）予防接種・感染症委員会

- ・予防接種・感染症情報の発信

感染症・予防接種レターを 74 巻 4 号より再開し、令和 3（2021）年度は 80 巻 3 号（レターNO. 第 86 号）から 80 巻 6 号（第 89 号）までを収載。

小児保健研究巻号	発行日	レターNO.	タイトル	執筆者
80-3	令和 3（2021）年 5 月 31 日	（第 86 号）	保育現場から新型コロナウイルス感染症対応の現状報告	渡邊 久美
80-4	令和 3（2021）年 7 月 31 日	（第 87 号）	医療従事者への予防接種	城 青衣
80-5	令和 3（2021）年 9 月 30 日	（第 88 号）	新型コロナウイルス感染症予防と RS ウイルス感染症予防の実際	菅原 美絵
80-6	令和 3（2021）年 11 月 30 日	（第 89 号）	ロタウイルスワクチンの互換性・再接種 ～同一製剤での接種完了～	津川 毅

- ・日本小児科学会 予防接種推進専門協議会へ本委員会 岡田 賢司委員、多屋 馨子委員が出席した。予防接種推進専門協議会での議事や依頼事項に関する検討や対応を行った。
- ・公益社団法人 日本小児科学会 予防接種推進専門協議会からの「ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン（子宮頸がんワクチン）の理解促進に向けた重要事項伝達周知のお願い」についての要望書への賛同依頼について、予防接種・感染症委員会および常任理事での確認のもと、令和 3(2021) 年 12 月 9 日付で当協会より賛同することとして回答し、対応した。
- ・来年度以降の研修事業開催について委員会で検討した。令和 4（2022）年 3 月 26 日（土）。

（4）編集委員会

- 1) 「小児保健研究」電子ジャーナル（6 回/年）を発行した（第 80 巻第 3 号（令和 3（2021）年 5 月 1 日発行号）～第 81 巻第 2 号（令和 4（2022）年 3 月 31 日発行号）。
- 2) 「第 68 回日本小児保健協会学術集会講演集」（印刷媒体）を発行した（小児保健研究第 80 巻講演集（令和 3（2021）年 5 月 31 日発行）。
- 3) 「第 5 回多職種のための投稿論文書き方セミナー」を開催した（令和 3（2021）年 6 月 19 日 第 68 回日本小児保健協会学術集会会期中）。
- 4) 「日本小児保健協会のご案内」について日本小児科学会雑誌へ掲載を依頼した。
委員会開催：令和 3（2021）年 4 月 7 日（水）、6 月 2 日（水）、8 月 4 日（水）、10 月 6 日（水）、12 月 1 日（水）、令和 4（2022）年 2 月 2 日（水）。なお、各回ともメール審議を行った。

（5）栄養委員会

子どもに対する適切な栄養の普及を介して子どもの健やかな成長発達や健康増進に寄与することを目的に活動を行なった。

- 1) 小児保健協会 HP 上で公開した提言「With コロナ時代の子どもの食事（令和 2 年 3 月）」の普及活動
 - ①読売新聞社令和 3 年 5 月 7 日朝刊に“コロナ禍「子どもの食事」で提言 小児保健協会 を掲載した。
 - ②令和 3 年度東京家政学院大学公開講座“おうちの中で楽しく過ごそう～with コロナ・after コロナ今後の新しい生活～において、「With コロナ時代の子どもの食事」-10 の提言-のオン

デマンド講義(7月26日～8月27日)を実施した。

③本協会主催の第6回多職種のための乳幼児健診講習会(令和3年10月17日開催)で「コロナ禍での乳幼児の食事・おやつ指導」を講演した。

④鳥取県小児保健協会会報「第21号小児保健とっとり」へ「With コロナ時代の子どもの食事」のご紹介」を掲載した。

2) 「子どもの食育を考えるフォーラム」(年1回開催)への後援・支援

第16回子どもの食育を考えるフォーラム(令和4年2月20日開催)のテーマとして「コロナ禍での子どもの食事」を提案し、太田委員が「自宅での食事について」、原委員長が「肥満について」の講演を行った。

3) 委員会開催

以上の活動のために、令和3(2021)年11月2日にweb委員会を開催した。

(6) 学校保健委員会

1) 代議員を対象とした調査の実施

COVID-19パンデミックによる長期間の学校臨時休校が児童生徒の心身の健康に及ぼした影響に関する調査を、Google フォームを用いて実施した。回答者は41名であった。その結果、代議員は、①身体活動量の低下、生活リズムの乱れ等による肥満小児の増加、②欠席・不登校の増加、③学校検診後の医療機関受診の減少、④オンライン授業の有用性および問題点への意識の増加、などの事項を推測し、かつ日々の業務等で確認していた。今後、当委員会では、これらの課題に対する指導について検討予定である。

2) コロナ禍における子どもへのメッセージの作成

「コロナ禍でのこどものこころのケアに対するメッセージ」を作成、ホームページで公開した。

3) 委員会開催

以上の活動のために、適宜メール会議を実施した。

(7) 小児救急の社会的サポートに関する検討委員会

令和3(2021)年5月1日(土)、7月3日(土)、8月22日(日)、3月21日(祝)にWeb会議を開催した。「小児急電話相談スキルアップ研修会基礎コース」の実施計画等について、次年度実践コース開催について検討を行なった。

(8) 傷害予防教育検討会

令和3(2021)年度の検討委員会を「傷害予防教育セミナー(6月18日Web開催)」後に開催し、昨年度から継続して取り組んでいるEラーニング教材作成について議論し、教材の普及させるために必要な要因(コンテンツの長さ、職種ごとに整理して配信する必要性など)について議論した。

(9) 小児保健奨励賞研究助成選考委員会

令和3(2021)年度研究助成の選考を行った。スケジュール上の都合により、メールにて選考を行った。

(10) 小児保健奨励賞 小児保健・愛育会賞選考委員会

令和3(2021)年度は対象事業の推薦はなく、選考委員会の開催はなし。

(11) 健やか親子21対応委員会

本年度の健やか親子21対応委員会の活動として下記の2件の調査を実施した。

調査1「保育・幼児教育現場におけるコロナ対策の好事例調査」(リーダー：鈴木先生)

調査2「リモートによる子どもの健康相談・子育て支援などの事業展開、相談サービスの質の管理」(リーダー：橋本先生)

調査結果の公表については、調査1は小児保健研究、調査2は日本小児保健協会学術集会で発表を検討することとした。

(12) 教育委員会

「第37回小児保健セミナー（WEB開催）」（令和3（2021）年12月5日）、および「第6回多職種のための乳幼児健診講習会（WEB開催）」（令和3（2021）年10月17日）、「第6回多職種のための発達障害の研修会（WEB開催）」（令和4（2022）年3月6日）、「第3回東京都保育士等キャリアアップ研修会専門分野研修（WEB開催）」（令和3（2021）年11月27日、12月11日、令和4（2022）年1月22日）を主催した。また次年度開催の「第38回小児保健セミナー」、および「第7回多職種のための乳幼児健診講習会」、「第7回多職種のための発達障害の研修会」、「第4回東京都保育士等キャリアアップ研修会専門分野研修」について、プログラムの内容を検討した。

委員会開催：令和3（2021）年4月15日、7月26日、10月25日、令和4（2022）年2月7日

(13) ホームページ・広報委員会

協会ホームページの更新および協会メールマガジンの配信を行った。協会ホームページは都度更新し、各種情報や機関誌の電子ジャーナルを掲載した。メールマガジンは、学術集会、セミナー、講習会等の情報、小児保健研究の発行状況、最新の小児保健関連情報の周知を目的として、令和3（2021）年度は41回／年の配信を行った。

(14) 若手による小児保健検討委員会

「10年後に予測される小児保健上の課題を推測し、その課題に取り組む若手を育成すること」「魅力的な学術集会開催を通して若手会員を獲得すること」「多職種で子どもの問題に取り組むこと」「多職種で議論する場の仕組みを構築すること」をミッションとして活動している。

- ・令和3（2021）年の第68回日本小児保健協会学術集会（沖縄・WEB開催）において、本委員会主催若手シンポジウム「コロナ禍におけるICTを活用した先進的な取り組み」と「性教育の多様性～ミライはどうなっている？」を開催し、時代と共に変化する子どもたちのデジタル環境と包括的性教育について情報発信、討議を行った。
- ・令和4（2022）年の第69回日本小児保健協会学術集会の本委員会企画として、会員獲得に向けた小児保健の魅力発信するシンポジウムと、性教育を取り上げたシンポジウムの開催を目指し、企画案を提出した。後者が採択され、セクシャルマイノリティの現状を踏まえた包括的性教育や医療の在り方をテーマとしたシンポジウムの開催にむけ準備を進めた。
- ・協会の会員獲得に向けた取り組みとして、「小児保健の魅力を上げる方策の検討・会員獲得担当」グループによる、会員を対象としたアンケート調査を計画した。3月の理事会で調査の実施が承認され、現在準備中である。

委員会開催：令和3（2021）年6月18日、8月5日、12月14日に、オンライン開催した。

(15) 災害時の母子保健に関する検討委員会（令和3年度のみ）

令和3年度のみ期間限定の委員会として理事会を承認を得て開催した。令和4（2022）年1月29日13時から16時半の日程で、「災害後の母子保健対策に関する研修会（WEB開催）」を開催した。参加者数198名。質疑応答も活発に行われた。

4. 日本小児医療保健協議会（四者協）

子どもの健康を守り増進することを目的として、日本小児科学会、日本小児保健協会、日本小児科医会、小児外科連絡協議会の四者が協力して取り組むべき課題について検討を行っている。四者が協力してわが国の子どものための医療健康福祉介護保険の諸問題に対し討議し、提言を行い、その実現化を進める牽引役となるための総括的な役割を担うべく活動した。

(1) 日本小児医療保健協議会（四者協）

以下の日程で開催された。新型コロナウイルスの影響を鑑みWEB会議で開催。

第202回：令和3（2021）年5月19日（水）、第203回：7月21日、第204回：9月15日、205回：11月17日、206回：令和4（2022）年1月19日、207回：3月16日

(2) 日本小児連絡協議会（四者協）合同委員会

1) 小児科と小児歯科の保健検討委員会

今期の検討テーマを「公的健診での保護者に寄り添う子育て支援」とし、作業分担を行い、作業を行った。本テーマは、社会情勢と共に変化する親子関係を念頭に、公的健診の場における評価や事後のフォローについて、保護者に寄り添う視点でこれを見直し、健やかな子育てを支援すべく保健関係者に提言することを目的として、小児科、小児歯科、心理および栄養の専門家がそれぞれできること、情報を共有してほしいことなどをまとめる予定としている。本年度は、分担作業のため、メールでの意見交換、進行の確認を行った。

2) 発達障害への対応委員会

第1回委員会での桜井優子委員の講演「東京都立小児総合医療センターのからだ部門診療における発達障害への対応」を受け、入院や外来検査の前のプレパレーションの重要性、病院における担当部門の役割や人員体制につき、現状の課題と取り組みについて意見交換がなされた。ノウハウを共有することで、医療者と患者の負担軽減、医療の質の向上に繋がると考え、シンポジウムの開催等を通して外部へ情報発信していくことも検討していく方針となった。

・「多職種のための発達障害の研修会」につき、主催する教育委員会と情報交換し、委員の講師派遣等で協力していく方針となった。令和4（2022）年3月6日の教育委員会主催「多職種のための発達障害研修会」（テーマ：発達の問題をかかえる子どもの明日の支援に生かす）で当委員会神尾陽子委員長、松田幸都枝委員が講師を担当した。

・今後も発達障害の診療、支援にかかわる課題につき検討するとともに、外部へ発信して問題意識を委員会を越えて共有し、課題に取り組む方針が確認された。次年度以降の学術集会での発表や当委員会委員が研修会講師を務める案などについて検討中である。

委員会開催：令和3（2021）年6月1日、9月6日、令和4（2022）年1月24日に、オンライン開催した。

3) 「子どもとICT、子どもたちの健やかな成長を願って」委員会

『子どもとICT(スマートフォン・タブレット端末など)の問題についての提言』（平成27年1月発表）を基に、スマートフォンなどのICT端末の過剰利用が子どもの健康に与える影響についてより広く社会へ普及・啓発に取り組む。新型コロナウイルス感染症の状況において、今後のシンポジウム開催検討は延期としている。

4) 健康診査委員会

乳幼児健康診査（以下、乳幼児健診）に従事する医師等の技術の向上、標準的な疾病スクリーニングや保健指導の普及を図ることを目的とした「乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会Part V～乳幼児健診マニュアルに基づく診察と対応～」の開催を中心に委員会での検討を行った。令和3（2021）年度の全3回の開催計画と実施、研修会実績をもとにした令和4（2022）年度開催計画について検討を行った。令和3（2021）年10月30日委員会開催のほか、メールによる情報交換。

5) 日本小児科学会主管合同委員会

- ・栄養委員会（食育フォーラム）
- ・治療用ミルク安定供給委員会
- ・重症心身障害児（者）・在宅医療委員会

6) 日本小児科医会主管合同委員会

- ・成育基本法制定推進委員会
- ・地域総合小児医療連絡協議会

7) 日本小児期外科系関連学会協議会主管合同委員会

- ・小児周産期災害医療対策委員会
- ・疾病登録と保健・医療情報の電子化に関する委員会

5. 外部団体委員会等

- (1) 予防接種推進専門協議会（代表者会議および全体会議）
- (2) 小児慢性疾患委員会
- (3) 健康日本 21 推進全国連絡協議会
- (4) エコチル調査企画評価委員会（環境省）

カ. その他の事業

1. 後援事業

	事業名	申請団体（申請者）
1	第 15 回おもちゃ・子育てアドバイザー養成講座	特定非営利活動法人”遊びとつけ”推進会
2	こども環境学会 2021 大会（長野）『自然とともに暮らすこども～生きる力を育むには～』	公益社団法人こども環境学会 代表理事
3	第 42 回こどもの難病シンポジウム「子どもの居場所をつくろう！」	認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク 会長
4	「7 月 11 日世界人口デー『世界人口白書 2021』日本語版発表記念オンライン・イベント わたしのからだだから～#からだの自己決定権って何？～」	京都大学 SRHR ライトユニット、 国連人口基金（UNFPA）東京事務所、NPO 法人女性医療ネットワーク
5	第 11 回日本小児科医会乳幼児学校保健研修会	日本小児科医会
6	第 93 回東京都小児保健協会学術講演会	東京都小児保健協会会長
7	日本子ども虐待防止学会第 27 回学術集会かながわ大会	日本子ども虐待防止学会第 27 回学術集会かながわ大会会頭
8	令和 3 年度健やか親子 21 全国大会（母子保健家族計画全国大会）	厚生労働省子ども家庭局長
9	令和 3 年度市民公開講座－新型コロナ禍における子どもの心と体のケア－	公益財団法人小児医学研究振興財団理事長
10	第 32 回全国保育園保健研究大会	一般社団法人全国保育園保健師看護師連絡会会長
11	第 42 回全国歯科保健大会	厚生労働事務次官
12	AYA Week 2022	一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会
13	ドナルド・マクドナルド・ハウス生誕 20 周年記念ファミリーセンタードケアフォーラム	公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
14	日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会	日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会大会長

2. 協会活動

(1) 協会活動助成

1) 小児保健奨励賞・研究助成

小児保健に関する研究の活性化を目的として、会誌『小児保健研究』誌上において発表された論文の中から、選考委員会による選考を行い、理事会での承認を得て助成論文を決定している。対象者は毎年2件以内で、1件あたり10万円の助成金を支出している。当年度においては以下のとおり。

(対象論文)

令和2(2020)年1月～同年12月に発刊された小児保健研究第79巻1号～第79巻6号に掲載された論文を選考対象とした。

(選考方法)

5名の選考委員により審議を重ね、2編の推薦論文を選考し、理事会での承認を得て決定した。

(受賞者)

1) 論文執筆者名：西 留美子 (にし るびこ) 氏 (帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科/研究職)

論文名：在宅重症心身障害児の被虐待様場面に對して訪問看護師が情報提供ケースとして判断する実態と関連要因

掲載巻号：小児保健研究 第79巻1号 p. 36～45

種類：研究

助成金：10万円

2) 論文執筆者名：佐鹿 孝子 (さしか たかこ) 氏 (前埼玉医科大学保健医療学部看護学科/看護師)

論文名：医療的ケア児と家族の社会生活とウェルビーイングを支える多職種連携の過程

掲載巻号：小児保健研究 第79巻5号 p. 466～476

種類：研究

助成金：ご辞退

(2) 小児保健奨励賞 小児保健・愛育会賞

令和3(2021)年度は対象事業の推薦はなく、授賞なし

(2) 都道府県研修会小児保健振興事業

都道府県地方協会からの申請を受け、本協会において審査の上、公共事業としてふさわしいと認められた研修会事業に対し、10万円を上限として支給した。申請期間を前期と後期に分けて実施した。申請は前期・後期で合計36件(前期13件、後期23件)を受け付けた。開催方法変更等については変更の届け出を受け付け、研修会開催実績後の助成金の執行状況に応じて返納を得た。

3. 要望書

(1) 「ビタミンK欠乏性出血性疾患発症予防に関する提言(案)」への賛同

公益社団法人 日本小児科学会からの賛同依頼に対し、令和3(2021)年度第3回理事会見直し決議により、令和3(2021)年8月24日付で全理事・全監事の同意を得た。令和3年8月25日付文書により賛同することとして回答した。

(2) 「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン(子宮頸がんワクチン)の理解促進に向けた重要事項伝達周知のお願い」について

公益社団法人 日本小児科学会 予防接種推進専門協議会からの要望書への賛同依頼について、予防接種・感染症委員会および常任理事での確認のもと、令和3(2021)年12月9日付で当協会より賛同することとして回答した。

(3) 「アセトアミノフェン静注製剤」要望書について

日本小児医療保健協議会（四者協）および日本小児外科学会の連名による要望書提出について、令和3（2021）年度第2回理事会承認のもと、当協会からも賛同することとして回答した。四者協構成団体である日本小児期外科系関連学会協議会より、令和3（2021）年12月吉日付文書により株式会社テルモあてに提出された。

4. 震災対策事業

日本小児医療保健協議会（四者協）合同委員会 小児周産期災害医療対策委員会委員として、当協会より全国保育園保健師看護師連絡会会長 藤井 祐子 先生に就任いただいている。

II-2. 役員会等に関する事項

1. 常任理事会

常任理事会を4回開催し、協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下であり、前年度に引き続き開催方法はWeb会議とした。令和3（2021）年4月24日、12月4日、令和4（2022）年2月23日、3月17日に開催。

2. 理事会

(1) 令和3（2021）年度第1回理事会（Web会議）

令和3（2021）年4月24日（金）

理事24名中23名出席で、本理事会は成立した。本理事会は成立した。定款の規定による議事録署名人として、秋山千枝子、並木由美江、両監事および小枝達也会長が指名され、開催した。

〔報告事項〕 I. 人事・事業実施報告、II. 開催計画

〔審議事項〕 以下について承認された。新入会員（令和3年3月）について、令和2（2020）年度事業報告について、令和3（2021）年度 名誉会員の推薦について、令和3（2021）年度定時社員総会の議事について、小児保健奨励賞について、令和2（2020）年度決算について

(2) 令和3（2021）年度第2回理事会

令和3（2021）年12月4日（土）

理事24名中19名出席で、本理事会は成立した。本理事会は成立した。定款の規定による議事録署名人として、秋山千枝子、並木由美江、両監事および小枝達也会長が指名され、開催した。

〔報告事項〕 I. 人事・事業実施報告、II. 開催計画

〔審議事項〕 以下について承認された。新入会員（令和3年8月～11月）について、『小児保健研究』オンライン査読システム導入等に伴う投稿規程等の改定について、オンライン査読システム導入に際する投稿時の費用の徴収について、保育・幼児教育現場におけるコロナ対策の好事例調査の実施について、災害後の母子保健に関する研修会（WEB開催）について、日本小児医療保健協議会での「成育医療等の提供に関する施策に関する基本的事項、行動目標」の作成について、日本小児期外科系関連学会協議会からの「アセトアミノフェン静注製剤の小児用低用量製剤の開発に関する要望書」への賛同依頼について、日本小児医療保健協議会（四者協）合同委員会「小児周産期災害医療対策委員会」委員委嘱について、倫理委員会委員の委嘱および謝金の支払いについて

(3) 令和3（2021）年度第3回理事会

令和4（2022）年3月12日（土）

理事24名中19名出席で、本理事会は成立した。本理事会は成立した。定款の規定による議事録署名人として、秋山千枝子、並木由美江、両監事および小枝達也会長が指名され、開催した。

〔報告事項〕 I. 人事・事業実施報告、II. 開催計画

〔審議事項〕 以下について承認された。新入会員（令和3年12月～令和4年2月）について、第69回日本小児保健協会学術集会予算について、令和4（2022）年2月17日内閣府立入検査での指摘事項について、倫理委員会 倫理審査の申請書等様式について、利益相反委員会の立ち上げにつ

いて、ウクライナへの支援の呼びかけについて

(4) 令和3(2021)年度第4回理事会

令和4(2022)年3月29日(火)

理事24名中19名出席で、本理事会は成立した。定款の規定による議事録署名人として、秋山千枝子監事および小枝達也会長が指名され、開催された。

〔報告事項〕Ⅰ. 人事・事業実施報告、Ⅱ. 開催計画

〔審議事項〕以下について承認された。令和4(2022)年度事業計画について、小児保健奨励賞の選考について、令和2(2020)年度、令和3(2021)年度の剰余金の使用計画について、遊休財産の使用計画について、令和4(2022)年度予算について、令和4(2022)年2月17日内閣府立入検査での指摘事項について、令和4年度定時社員総会開催について、若手による小児保健検討委員会からの調査に関する提案、利益相反委員会委員について、日本学術振興会育志賞候補者推薦依頼について、投書について

(5) 理事会の決議省略(電子メールによる見直し決議)

1) 令和3年度第1回理事会見直し決議(令和3(2021)年5月27日付全理事・全監事同意)

提案事項: 1. 令和3年度予算に関する修正について、2. 第71回日本小児保健協会学術集会(令和6/2024年度)の会頭推薦について、3. 「災害後の母子保健委員会」の委員推薦について

2) 令和3年度第2回理事会見直し決議(令和3(2021)年6月3日付全理事・全監事同意)

提案事項: 1. 令和3年度 小児保健奨励賞・研究助成の選考結果について

3) 令和3年度第3回理事会見直し決議(令和3(2021)年8月24日付全理事・全監事同意)

提案事項: 1. 新入会員について(令和3年4月~7月)、2. 日本小児科学会 新生児委員会による「ビタミンK欠乏性出血性疾患発症予防に関する提言(案)」への賛同依頼について、3. 健やか親子21対応委員会による「リモートによる相談事業の調査」の実施について

4) 令和3年度第4回理事会見直し決議(複数のご意見があり、不承認)

提案事項: 1. 学校保健委員会による調査「COVID-19による長期間臨時休校の児童生徒の心身への影響に関する日本小児保健協会代議員の認識状況の調査」の実施について

5) 令和3年度第5回理事会見直し決議(令和3(2021)年10月11日付全理事・全監事同意)

提案事項: 1. 学校保健委員会による調査「COVID-19による長期間臨時休校の児童生徒の心身への影響に関する日本小児保健協会代議員の認識状況の調査」の実施について(再提出)

6) 令和3年度第6回理事会見直し決議(令和3(2021)年10月12日付全理事・全監事同意)

提案事項: 1. 令和4年度改選選挙 中央選挙管理委員会の立ち上げについて、2. 「コロナ禍の子どもたちのこころのケアに関するメッセージ」のホームページ掲載、メールマガジン配信について

7) 令和3年度第7回理事会見直し決議(令和4(2022)年1月17日付全理事・全監事同意)

提案事項: 1. 幼児健康度調査の実施について、2. 発育委員会による乳幼児身体発育調査に関する要望書提出について

3. 令和3(2021)年度監査会(Web会議)

令和3(2021)年4月21日(水)、秋山 千枝子 監事、並木 由美江 監事により、令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)の事業年度の理事の職務の執行について監査さ

れ、適正であると認められた。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大状況によって、事業実施への影響が大きく認められ、例年との比較において収支に大きな影響を及ぼした。

4. 令和3(2021)年度定時社員総会(Web会議)

日時：令和3(2021)年6月19日(土)13:15～14:15

日本小児保健協会会議室(東京都千代田区神田)において、社員総数178名のうち、出席者140名(本人出席54名、委任状出席86名)で社員の過半数以上に達したことにより総会は成立した。社員の過半数以上に達したことにより総会は成立した。なお、新型コロナウイルス感染症に関する状況により、会議室での開催と同時にWEB会議での出席を推奨した。議長は、代議員の中から山崎嘉久氏が選任され、議事を進行した。議事録署名人2名については、立候補、推薦はなく、議長から秋山千枝子(東京都)、並木由美江(埼玉県)両代議員が指名され、承認が得られた。

〔報告事項〕1. 令和3(2021)年度事業計画、2. 令和3(2021)年度予算書、3. 令和2(2020)年度事業報告、4. その他(1)令和3(2021)年度協会活動助成 小児保健奨励賞の決定について

〔審議事項〕以下について承認された。1. 令和3(2021)年度名誉会員の推薦について、2. 第71回日本小児保健協会学術集会について、3. 令和2(2020)年度決算書案ならびに監査報告

以上